

海外新着情報（8月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

○ 中国

・12～17歳（未成年者）への新型コロナウイルスワクチン接種

～中国・大連～（2021年7月22日）

中国遼寧省・大連市では7月16日時点で、18歳以上の市民の85%以上が新型コロナウイルスワクチンを接種済みであり、12～17歳の未成年者へのワクチン接種も開始されています。未成年者への接種は原則、在籍する学校での一括管理による接種となります。

中国では今後、ワクチン未接種の人は医療機関の入院部屋や養老施設、保育園、学校、図書館、博物館、刑務所などの場所に入ることができなくなると言われており、ワクチン接種の早期接種が呼びかけられています。（強制ではありません。）

○ 東南アジア地域

・首都バンコクを含む13都県でロックダウン ～タイ・バンコク～

（2021年7月27日）

タイ政府は、7月12日から首都バンコクを含む10都県で事実上のロックダウンを実施しましたが、感染が深刻化していることを受け、20日からは13都県を対象を拡大。夜間外出の原則禁止や不要不急の越境移動の自粛などが求められています。また、23日からは公共施設の閉鎖などさらに規制が強化されています。

7月25日には、一日の新規感染者数が1万5,000人を超え、連日1万人を超える新規感染者が報告されています。

・感染拡大により7月22日から8月18日まで飲食店での飲食の禁止など規制強化
～ シンガポール ～ (2021年7月21日)

シンガポール政府は7月20日、飲食店などでクラスターが発生し、感染者数の増加を受けて、警戒レベルをフェーズ2 (Heightened Alert) に戻し、グループ上限を5人から2人に引き下げ、飲食店での飲食などを禁止する安全管理措置の強化を行うことを発表しました。

○ 北米地域情報

・米国カリフォルニア州ロサンゼルスでの規制強化 ～ 米国 ～
(2021年7月16日)

カリフォルニア州ロサンゼルス郡公衆衛生局は、デルタ株の感染拡大を受け、食料品店や小売店、職場などの屋内で全員のワクチン接種状況が不明な場合、接種有無に関係なくマスク着用を強く推奨すると発表しました。

ワクチン接種が進む米国においてもデルタ株の感染拡大が見られており、イリノイ州シカゴ市では旅行規制を再導入するなど、各地で規制の再強化の動きが見られません。